

法律相談、税金相談

ともに6/24水

インボイス相談も
同日に受け付けます。



詳しくは支部へお問合せ下さい。

けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています。)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



メーデー・デコレーションカー制作

テーマは だるま落とし

今年もメーデーの季節がやってきました。

今回のメインテーマはストップ二重課税。ガソリン高騰が建設業を直撃している現状をアピールしました。さらに、イランの情勢不安に端を発した全面的な材料代値上げ、供給不足をサブテーマにデコレーション制作をおこないました。

第1回目の実行委員会では具体的なデザインを検討。話の中でいろんな意見は出るものの、なかなかしっくりくる案が出ず苦戦。制作日数や予算、制作メンバーを考え木材を使ったものに決定。話していく中で職人が苦しみ の根源(ガソリン税や物価高騰)を打ち返し、守りたいものを積み上げていくようなものはどうかとなりました。その結果、だるま落としをヒントに建設職人が困難をはじき返すデコレー

ションとなりました。

制作日当日は、実行委員に加え、有志の参加もあり、工作班と文言を考える班に分かれて作業。文言はイラン情勢の影響をもちに受けた仲間の熱いメッセージをそのまま文章化。建設業界の苦しさを反映するものになりました。

例年、メーデー制作はメンバーが固定化されてきましたが、今年は初参加の仲間もいてベテランと若手の融合ができ、作業日数は2日で完了しました。各分会からの参加もありよかったです。個人的にはメーデーや住宅デーなどの実行委員会形式のものは常任の実行委員選出・参加もオーケーにして、支部役員参加を促すのもいいんじゃないかと思いました。

大雨のメーデー当日

迎えたメーデー当日。朝から強い雨



が降る中支部会館を出発し代々木公園へ。9時に開催の可否が決まることで待機することに。

結論は「集会のみ開催、デモ行進は中止、デコレーションは各支部に持ち帰って制作し、写真で審査」という結果に。自分が参加し始めて10年ほどですが初めての判断でした。そのまま支部会館に戻りデコレーションを制作しました。

荒天で中止になってしまうのは仕方がないと思う反面、他支部のデコレーションが見れなかったことや、参加者が少なくなってしまったこともあり、残念な気持ちが残りました。来年は晴天の中、大勢の参加者で盛り上がるメーデーにしましょう。

(田中承宏 椎名町分会教宣部長)

つぶやき

さくら倒木

今年の3月、砧公園でさくらの樹が倒れ、けが人が出ました。4月には千鳥ヶ淵でも桜が根もとから倒れるという事件がありました。

桜と聞いて思い浮かべるのは、ソメイヨシノです。日本全国に数多く植えられています。霞がかかったような淡い花がパッと咲いてパッと散るはかなさが日本人好みといわれています。

ソメイヨシノは日本の代表的な存在ですが、生まれてから100年と少しです。園芸品種で、当時、園芸の町として栄えていた旧駒込村(現東京都豊島区駒込)で オオシマザクラとエドヒガンを交配させて誕生しました。江戸末期に作られた一本の原木から接ぎ木や挿し木で増やされたすべて同じ遺伝子を持つクローンです。全国どこでも気象条件が同じなら一斉に開花し散る特性を持っています。また、病気に弱い性質を持ち、折れた枝や枝の切り口から幹を腐らせる菌が侵入しやすく、50年を超えると幹の内部が腐る事から60年で寿命を迎えてしまうといわれています。

全国のソメイヨシノが、危機を迎えているといわれているなか、青森県弘前城の桜は樹齢100年を超える古木がたくさんあるそうです。リンゴの剪定技術を生かして手入れされているので元気だそうです。寿命60年説は何も対策を取らなかった場合の事だそうです。

桜もそうですが何事にも手間暇をかけ愛情を持って接する事が大事ということですね。

(新井睦子 南池袋分会教宣部長)

第97回 中央メーデー



5月1日(金)代々木公園にて雨が降る中、第97回中央メーデーが開催されました。午前10時に式典が始まり情勢の悪化、先行き不安や物価上昇による生活悪化だけでなく、生活そのものができなくなる恐れさえ生まれてくると訴えがありました。最後は団結ガンパローで解散しました。

各支部の製作した、デコレーションカーのパレードを行う予定が雨の為中止になり、建設現場で働く者のアピールができませんでした。私たち組合員にとっても残念でした。豊島支部のデコレーションも見なかったで



す。会場は水浸しで足元の悪い中、皆さんお疲れ様でした。全体26,300人、豊島支部の参加は36人でした。

(大嶋清子 上池袋本町分会教宣部長)

イラン情勢による 建設現場の危機

山川尚人 南池袋分会教宣副部長(塗装業)

2026年3月初旬、ホルムズ海峡の封鎖を含むイラン周辺の軍事緊張が極限に達しました。これにより日本の原油輸入の約9割を支える中東ルートが遮断されました。

原油精製の過程で得られる「ナフサ(粗製ガソリン)」は、プラスチックや塗料、シンナーの主原料です。国内製油所は原油不足により稼働率を40%以下に下げ、化学メーカーへのナフサ供給を優先的に制限しました。

3月中旬、国内主要溶剤メーカー各社が「フォースマジュール(不可抗力による供給義務免除)」を宣言、建設現場で不可欠な洗浄用シンナーや塗

料希釈剤の出荷が突如停止しました。4月に入ると、商社や販売店が抱えていた流通在庫が底を突きました。建設現場の停滞が起こるようになり、新築マンションや大規模修繕工事が全国各地で中断。シンナーがなければ、刷毛(はけ)の洗浄すらできず、一度固まった塗料は除去できないため、工事継続は物理的に不可能となりました。

追い打ちをかける価格の暴騰も起こり、闇市では洗浄用シンナー1缶(16L)が、通常価格の10倍にあたる5万円以上で取引される異常事態となりました。

工事が進まない事で、中間金や完工金の支払いが滞り、建設会社のキャッシュフローが急速に悪化、塗装工事業の年度計で2025年度(2025年4月~2026年3月)の累計倒産件数は143件に達し、これは統計開始以来5番目の高水準であり、過去20年で最多です。

事業者の倒産により、大型プロジェクトの工期が半年以上遅延。遅延損害金の支払い義務が生じた中堅ゼネコンの経営ですら危うくなって行く負の連鎖です。「ナフサ・ショック」は、単なるコスト高ではなく「材料がこの世から消える」という建設業界にとっての悪夢を現実のものとなりました。イラン情勢という地政学リスクが、グローバル供給網の脆弱性を浮き彫りにした形です。

業界の生き残りには、根本的な契約ルールの見直し、多能工化、情報共有の強化が必要とされています。職種に関係無く、価格変動リスクを契



池袋木建協パトロールに参加する山川さん

約に盛り込み、工期やコストの負担を適切に調整する仕組み作りが業界全体で求められています。

『町場』の職人は、国際情勢のしわ寄せをすべて個人の肩に背負わされています。工期が延びても追加金が出ないという悪習は、もはや経営努力で解決できる限界を超えました。行政は民間契約の『ブラックボックス』に踏み込み、資材不足時のコスト分担ルールを強制力をもって明示すべきです。そうでなければ、日本の住まいを守る技術者は絶滅する。

いま憲法を考える

2026年憲法集会に5万人が集結

5月3日、「つながろう 憲法活かして、平和な世界を!」2026憲法大集会が有明防災公園で開かれ50,000人が参加し、「戦争反対・憲法を守れ」の声をあげました。



集会後元気にデモ行進する豊島支部の仲間たち

今、「高市改憲」発議によって平和が脅かされる事態と

なっています。衆院での圧倒的な「数の力」で改憲を狙い、更に大軍拡など「戦争国家づくり」に向けた動きも急速に進んでいます。戦争への危機感が高まってきました。基本的人権を明確に定めている「日本国憲法」を変えてしまったら、戦争への歯止めを失ったも同然、たちまち日本は戦争できる国へと変わってしまいます。私たちが求めているのは改憲ではなく、憲法を守り生かすことです。

実行委員会の菱山南帆子さんが憲法9条を読み上げました。侵略戦争の反省のもとに、二度と間違いは繰り返さないと、戦争放棄を誓った憲法9条を、高市政権は狙っています。9条を変えて、アメリカと一体になって再び日本を戦争する国にしてしまうのか、戦争への道を許さず、世界の恒久平和を願って、あらゆる改憲策動に立ち向かっていこうと、元気よくデモ行進しました。(間辺美恵子通信員 南池袋分会)

改憲阻止平和を守る学習集会

4月10日、午後7時より東京土建本部で開催した学習会に、さくら分会から5人がWEBで参加しました。

高市政権による改憲、軍拡策動にいかにか立ち向かうか?何故改憲したいか?それは日本が後方支援だけで、戦死するのは米軍、NATO軍だけという現状で良いのかという問いから発する。日本国民も少しは、違和感を持っているのではないか。しかし、島国日本では、米軍に守られてきたのでいきなり軍隊を持ってと言われても、誰が志願するのか疑問がある。それこそ外人部隊でも募集しなければ、成り立たないのではないか。それでも高市政権は、支持率が高いうちに念願の改憲に挑もうとしている。

そして、アメリカトランプ政権はもはや世界の警察官では無いと言っている。トランプが強硬な手段で他国を攻撃するのは、国際法は、解釈の違いで抜け道だらけのため、実力行使で、自国を正当化しているのでしょう。また、トランプはビジネスマンで政治家では無いと思います。発言することがコロコロ変わるし、訳がわからない。国連も大国が行動を起こすと、批判はしても何もできない。世界の為より、自国が大事。常任理事国など意味がないように思います。

日本は米軍基地を置くには、最高の立地だったと、思います。米軍が撤退したら、他国は侵略してくるでしょう。天皇制を守るための憲法九条では、もはや古い考え方なのでは?今回の学習集会では、それでも、憲法九条のお陰で戦後日本には、何もなかったと締め括ったが、複雑な気持ちになりました。

皇室の問題については、養子縁組を可能として、「皇統に属する男系の男子を皇族とする」を男女に広げた方が良くと思います。(山田篤 さくら分会教宣部長)

第49回 住宅デー



今年も区内6カ所で開催

毎年、東京土建豊島支部6分会が、地元の公園で開催する住宅デーは、地域への奉仕活動を通して、東京土建を宣伝して、ご近所からの仕事の掘り起こしを目的にしています。また、そうした取り組みを通して、組合員同士の結びつきを強め、新しい仲間の獲得にもつながります。

下記の内容で開催する住宅デーへ、ぜひご家族そろって遊びに来て下さい。包丁とぎは一丁300円で承ります。子ども木工、コップタイ、モザイクタイル等は全て無料で楽しめます。当日、スタッフとして住宅デーを運営する側の仲間も募集しています。

手伝える方は、分会役員、支部の書記、そして群長さんへその旨お知らせ下さい。

開催日時	主催分会	会場	企画
6/7(日) 10時開始	上池袋本町分会	くすの木公園 豊島区上池袋 4-19-1	まな板けずり 平和写真展 習字遊び パザー 万華鏡他
	椎名町分会	椎名町公園 豊島区南長崎 1-20-1	まな板けずり ビンゴ大会 やきそば フランクフルト 落書きカー他
6/14(日) 10時開始	南池袋分会	雑司ヶ谷こどもの広場 豊島区雑司が谷 2-11-8	住宅相談 包丁とぎ 子ども木工 コップタイ モザイクタイル
	池袋分会	御嶽北公園 豊島区池袋3-44-20	ストラックアウト
6/21(日) 10時開始	かなめ分会	フラワー公園 豊島区千早1-8-1	パザー 野菜販売ブース キッチンカー
	さくら分会	染井よしの 桜の里公園 豊島区駒込6-3-1	まな板けずり やきそば フランクフルト ポップコーン他